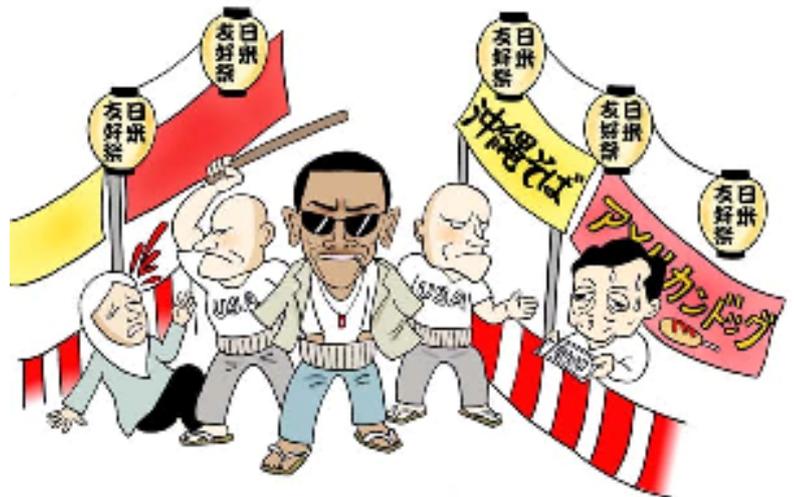


鳩山の裏切りを許すな！ 辺野古の海を埋め立てる ことは自然に対する冒涇！

鳩山政権は米国を優先し沖縄を切り捨てた！

28日、鳩山政権は、沖縄県名護市の辺野古に新たな米軍基地を建設するという日米共同声明を発表しました。そして、これに反対した福島大臣を罷免した上で、共同声明に沿った政府方針の閣議決定を強行しました。前政権が沖縄に押付けようとしていた計画と変わりはありません。「最低でも県外」と言って政権交代を果たしたはずの鳩山政権の、沖縄県民・国民に対する完全な裏切りです。国民を無視して米国との軍事同盟を優先し、国民を犠牲にして戦争できる体制整備を優先するという政権の性格を露骨に示しました。許しがたい暴挙です。断固抗議します！

抑止力



学べば学ぶほどわかった。(2010.5)

イラスト by 壹花花

どうして米軍に生活と自然環境が奪われなきゃならない？

戦後65年、沖縄返還から38年もたった現在に、なぜ、日本国内に新たな米軍基地が建設されなければならないのでしょうか？なぜ、米軍基地建設のために、沖縄の人々の土地、海、自然、静かな生活が奪われ続けなければならないのでしょうか？まったく納得のいくものではありません。沖縄戦の後、銃剣とブルドーザーによって有無を言わずに土地が奪われ、米軍の基地とされて固定化されてきた沖縄において、米軍基地の整理・縮小・返還こそが急がれるべきものであって、米軍基地の増強増設とは言語道断です。「世界一危険な」普天間基地は無条件で返還されるべきものです。

沖縄は、このことを、4月25日の9万人が集まった全県的超党派の県民大会で意思表示しましたし、5月16日の1万7000人の市民による豪雨の中での普天間包囲大成功によっても示してきました。これらの沖縄の行動に、全国各地では連帯の行動が取り組まれています。

(裏に続く)



5月16日普天間包囲行動 豪雨の中で「米軍基地は出て行け！」「新基地建設反対！」と1万7000人が包囲を成功させました。(宜野湾市役所前)

(表面からつづき)

すべての在日米軍基地の「整理・縮小・返還」を！

自公政権が辺野古への基地建設を決めてからから 13 年、米軍再編合意からも 4 年間、沖縄の運動は新基地の建設を止めてきました。鳩山政権の裏切りによる閣議決定によっても、決して沖縄県民は新基地建設を許しません。新基地建設を阻止し奮闘を続けるでしょう。基地県である神奈川からも沖縄の人々と連帯する声をあげていきましょう！そして、未来の神奈川県内の米軍基地の整理・縮小・完全撤去のためにも共に行動して行きましょう！（2010. 5. 29）

キャンプ座間

ボール飛出しが止まりません！ ゴルフ場は市民に返還を！

キャンプ座間のゴルフ場からのボール飛び出しが続いています。4月18日新磯野西公園にいた住民のそばに落下しました。市民の抗議で2月まで使用停止をしていた5番ホールからの飛び出しと見られます。相武台ふれあい広場への1番ホールからの飛び出しも続いています。今年度に入ってから（4月～）相模原市が確認できただけで、8個の飛び出しが発生しています。これまでも、06年度に15個、07年度に47個、08年度に143個、09年度21個が確認されてきました。即刻業務停止命令が出されるべき状態です。しかし、沖縄同様、米軍は、周辺住民の安全を軽視したままです。日本政府もこの問題に対して真面目な対応をまったくしていません。相模原市の対応も、原因の究明と必要な対策をとるよう申し入れるにとどまっています。相手が米軍だとどうしてこうなるのでしょうか？これも日米地位協定による問題です。まったくおかしなことです。断固抗議の声を上げましょう！

新磯野西公園に集まれ！

ボール飛出し抗議 5/30 緊急集会

大事故が起こる前に、みんなの力を合わせて抜本的解決を勝ち取りましょう！
キャンプ座間の縮小・返還の方向性に一致させて、ゴルフ場の返還を要求しましょう！
日米の新司令部の移駐などキャンプ座間の強化・恒久化に反対しましょう！

- 日時:5月30日(日)午前10:00～
- 場所:新磯野西公園(相武台前駅徒歩15分)
- 主催:キャンプ座間への米第1軍団の移駐を歓迎しない会
- 賛同:神奈川平和運動センター 湘北教職員組合
自治労相模原市職労

